

生物多様性を考慮した森づくり

キーワード 環境保全, 森林再生, 里山

4

質の高い教育を
みんなに

13

気候変動に
具体的な対策を

15

陸の豊かさも
守ろう

■ 研究概要

- ・森林がもつ多様な生態系サービスをより充実させるためにはどのような森づくりを行えばよいのか。多様な生きものが共存できる森づくりを主な目的に、蔵王の樹氷林の再生や猛禽類の生息環境の保全、里山の希少生物の保全を実践・研究しています。
- ・海岸林（庄内海岸林、飛島、津波被災地）から里山（山形県内各地）、奥山（蔵王、鳥海山、月山）まで多様な森林や湿地を対象に、生物多様性を配慮した森林整備や森づくり、自然再生の研究を行っています。



- ・蔵王の樹氷は山形県の冬季の主要な観光資源ですが、樹氷をつくるオオシラビソ（アオモリトドマツ）林では集団枯損が拡大しています。樹氷林にはササが密生し、後継木が少ないため、自然に再生することは困難です。樹氷林を再生するために、自然のしくみを最大限に利用した効果的な再生技術を開発する研究を行っています。

■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・多様な組織が連携して、保全活動を実施することが重要です。効果的な活動にするために、これまでの実績をふまえて、活動の目的や対象地に応じた有効な保全方法を探求します。

林田 光祐 教授 HAYASHIDA, Mitsuhiro

専門分野：森林保全管理学

E-mail : hayasida@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

